学校番号	２１２

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．子どもとの関わりと福祉，消費生活，食生活などに関する知識と技術を総合的に習得する。
２．学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
３．家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

２　学習の到達目標

子どもとのかかわりと福祉、消費生活、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもとの関わりと福祉、消費生活、食生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。	子どもとの関わりと福祉、消費生活、食生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもとの関わりと福祉、消費生活、食生活などに関する技術を総合的に身に付けている。	子どもとの関わりと福祉、消費生活、食生活などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述	・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査	・実習技能 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査	・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1学期	自分らしい人生をつくる	○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ○目標を持って生きる	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:生涯発達の考え方に立ち，各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち，青年期の課題について具体的に考えようとしている。 b:自分を見つめ，肯定的な自己概念を持ち，自分の人生や進路について考えを深め，具体的にまとめている。 c:ワークシートを使ってライフデザインを考えることができる。 d:自分らしく生きるために目標を持ち，生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査

	第5章　経済生活を営む	○職業生活を設計する ○計画的に使う ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ○現代の消費社会 ○消費者の権利と責任 ○これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち，自立した消費者として行動しようとしている。 適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち，消費行動における意思決定の重要性や消費者市民社会について考えようとしている。 b:経済的自立と職業について考えを深めている。 消費行動における意思決定について，具体的な事例を踏まえて主体的に考え，適切に判断することができる。 c: 家庭の経済生活の諸課題の具体的な事例を収集・整理したり，生涯を見通した経済計画を立てることができる。 d: ・生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。 ・家庭経済と国民経済の関わり，家計の管理や経済計画の重要性を理解している。 ・消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 ・環境問題に配慮したグリーンコンシューマーとなることが求められていることを理解し，家庭生活と資源・環境との関わりについて，自立した消費者になるための知識を身につけている。 ・消費行動における意思決定の重要性や消費者市民社会の意義を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査

2学期	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○食生活の安全と衛生 ○生涯の健康を見通した食事計画 ○調理の基礎	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：食生活に関心を持ち，食生活と健康の関わりを考え，意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 ・調理実習や実験などに，科学的な視点から，積極的に取り組もうとしている。 b：現代の食生活の課題や食事の意義について思考を深めている。 ・栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量の目安について，家族や自分の食生活と関連させて考え，食生活の課題を調査してまとめたり，発表している。 c：・主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し，検討することができる。 ・食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d：・栄養，食品，調理及び食品衛生など，食事と健康との関わりについて，科学的に理解している。 ・調理実習を通して，食生活の自立に必要な知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査

3学期	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ○これからの保育環境	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a：・子どもの心身の発達について関心を持ち，家族の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもの発達や生活に関心を持ち，保育の重要性や社会の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち，課題解決に向けて考えようとしている。 b：・児童虐待や育児不安の事例研究を通して，原因および解決について考えを深めようとしている。 ・子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義，社会・地域・親の果たす役割について考え，課題を見い出し，まとめたり，発表したりしている。 c：子どもの生活や子どもを取り巻く環境，子育てにおける課題などについて，情報を収集したり，調査することができる。 d：・子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて，家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 ・社会全体で子育てを支援する必要性を認識し，子どもの権利と福祉について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント学習 ・ワークシート、レポート等の記述 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。